

青少年のきずな

1回覧ください

編集・発行 久留米市子ども未来部 青少年育成課(久留米市野中町1074-1) TEL(0942)35-3806 FAX(0942)34-9001

(お知らせ)若者相談「みらくる」(中学卒業後～39歳の総合相談窓口)専用フリーダイヤル0120-369656 FAX(0942)34-9001

3年ぶりに開催

「青少年健全育成駅伝大会」

42チームが力を 尽くして走り切る!!

優勝は小森野校区



▲スタート!

駅伝大会の成績

順位	チーム	記録	順位	チーム	記録
優勝	小森野	52'16"	22位	水縄	57'22"
準優勝	北野	52'58"	23位	三瀬	57'26"
3位	安武	53'03"	24位	大城	57'28"
4位	宮ノ陣	53'20"	25位	弓削	57'29"
5位	高良内	53'26"	26位	津福	57'35"
6位	南	53'27"	27位	善導寺	57'35"
7位	西牟田	54'11"	28位	荒木	57'57"
8位	大善寺	54'15"	29位	京町	58'05"
9位	長門石	54'50"	30位	城島	58'14"
10位	篠山	55'15"	31位	金丸	58'21"
11位	合川	55'47"	32位	江上	59'17"
12位	東国分	55'52"	33位	荘島	59'45"
13位	犬塚	55'55"	34位	田主丸	1' 00'06"
14位	山本	55'56"	35位	水分	1' 00'15"
15位	山川	56'14"	36位	川会	1' 00'23"
16位	西国分	56'20"	37位	船越	1' 00'27"
17位	青木	56'27"	38位	日吉	1' 00'27"
18位	上津	56'55"	39位	竹野	1' 02'09"
19位	御井	56'55"	40位	金島	1' 02'27"
20位	南薫	57'10"	41位	青峰	1' 02'47"
21位	鳥飼	57'13"	42位	大橋	1' 04'27"

2月19日(日)に、「第39回久留米市少年健全育成駅伝大会」が久留米総合スポーツセンター陸上競技場及びその周辺にて開催されました。

大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年、一昨年と2年続けて中止となっており、3年ぶりに待望の開催となりました。

この駅伝大会は、「友情・連帯・協調」をテーマに掲げ、スポーツを通じて子どもの健全育成を目的とするとともに、子どもたちへの関わりを通じて、地域における連携を進めることも目指し、昭和59年度から開催されています。合計10区間、計14,200メートルのコースを、小学5・6年生を中心とした女子及び男子の選手各5人が、交互にたすきをつないで走路を駆け抜けます。

あいにく開会式から小雨が降る中での開催となりましたが、42校区の選手たちが、それぞれの校区の皆さんの応援や、一緒に練習に励んできた仲間たちの思いをしつ

かり受けとめながら、力いっぱい走り切りました。

今回、優勝を果たしたのは、10区間中8区間で1位をキープし、2位に40秒以上の差をつける力強い走りを見せた小森野校区でした。



▲優勝:小森野チーム表彰

1回覧ください

準優勝は、4区と6区で区間賞を取った北野校区で、前大会の3位から更に順位を上げました。3位は3区、5区、7区、9区と4区間で区間賞を取った安武校区、4位は5区と8区で区間賞を取り前回の6位から二つ順位を上げた宮ノ陣校区、5位は前回優勝の高良内校区、6位は前回の7位から一つ順位を上げた南校区が入賞しました。



▲選手宣誓

順位及びタイムの躍進賞がそれぞれ3校区、個人での区間賞が10区間それぞれ(5区のみ同タイムで2人)に贈られました。

また、駅伝競技終了後のマラソンの部では、男女2グループずつ4レースを行い、駅伝に負けず劣らずの懸命な走りを見せてくれました。

今大会は、3年ぶりの開催ということで、子どもたちや各校区の皆さんの並々ならぬ熱い思いが感じられました。大会を開催するにあたり、練習はもとより、当日までの準備



▲タスキをつなぐ

○順位躍進賞

チーム	順位 前回→今回
青木	40位→17位
上津	36位→18位
御井	34位→19位

○タイム躍進賞

チーム	前回からの 短縮タイム
津福	5'02"
西牟田	4'29"
東国分	3'54"



▲マラソンの部も熱戦

等、今回も多くの方々に多大なるご支援ご協力をいただきました。

子どもたちはきっと周りの大人や友達との関わりの中で、ひと回り成長できたのではないかと思います。ここに厚く御礼申し上げます。



▲1位でゴール!

○区間賞

区間	チーム	氏名	記録
1区	山川	秋山 柚葉	4'50"
2区	小森野	渡邊 響	5'31"
3区	安武	中嶋 珠心	3'56"
4区	北野	堀内 勇旗	5'56"
5区	安武	大久保 愛美	4'09"
	宮ノ陣	井 美遥	4'09"
6区	北野	永江 蓮	6'05"
7区	安武	中嶋 悠月	4'05"
8区	宮ノ陣	柴田 光輝	6'06"
9区	安武	藤本 夏帆	4'07"
10区	船越	松本 颯真	5'55"

らるごの体験活動

今年度は、昨年までできなかった更生保護女性会との交流会を実施したり、今年度も職場体験学習ができなかった代わりに宮ノ陣クリーンセンターや久留米消防署見学をさせてもらうことで、体験学習の充実を図りました。

餅つき体験



▲餅つき体験

12月13日(火)には、餅つき体験を行いました。農政課及びくめ認定農業者協議会に協力してもらい、10月に稲刈で収穫したもち米を活用させてもらい、餅つき体験ができました。テレビでも取り上げてもらいましたが、普段積極的でない子ども達も、初めて見る人手による餅つきに興味を示し、意欲的に参加する姿がありました。お餅が苦手な子ども中にはいきましたが、自分たちで作ったお餅を家庭にお土産として持ち帰る姿があり、後日家族にも喜んでもらったと嬉しそうに話す姿がありました。

更生保護女性会との交流会

1月18日(水)には、3年ぶりの開催となった更生保護女性会との交流会を実施しました。多くの女性会の方に参加いただき、通級生達と一緒にだご汁やいなりずしを作っていました。



▲更生保護女性会との交流会

作っていただきました。交流の場では、女性会の方から特技のハーモニカを披露してくれるなど楽しいひと時を過ごすことができました。出来上がっただご汁・いなりずしはみんなでおいしくいただきました。

トピック

3学期は、らるご久留米でもwi-fi環境が整い、ようやく電子機器の導入を行うことができました。午前中の学習支援や調べ学習の際に活用することができています。また、毎日の出欠確認や体験学習の参加確認等でも活用することができており、保護者の方への負担軽減につながっています。

今年度12月に第一回を実施した卒級生の交流会については、今後定例化するため、終了日の日に通級生及び保護者に向けて年2回実施(夏・冬)することの周知を

社会見学

2月2日(木)・3日(金)は、社会見学(宮ノ陣クリーンセンター・久留米消防署)を行いました。

宮ノ陣クリーンセンターでは、ごみ処理現場で大きな機械が稼働している様子等を見学しました。

子ども達も、規模の大きさや分別されなくて燃え残った金属等を見て、驚くとともに改めて分別することの大切さを感じ取っていました。

翌日の久留米消防署では、地震体験車で「東日本大震災」と同じ震度7の揺れを体験しました。見ているだけで怖くなる通級生もいましたが、地震の際の心構えや普段からの備え等、日頃の防災意識を高めることができました。また、救命救急についての話もしていただき、実際に胸骨圧迫の体験もさせていただきました。初めての体験に子ども達も悪戦苦闘していましたが、救急車が到着するまでの救命措置が重要であることを学び、一生懸命取り組む姿がありました。



▲クリーンセンター



▲久留米消防署

らるご久留米終了式

らるご久留米終了式を3月3日(金)に行いました。今年度はえーるピアの視聴覚ホールを借りての開催となり、いつもと違うステージ上での証書授与でしたが、通級生はみな堂々と終了証を受け取ることができました。

行いました。これからも、変わりゆく変化に対して子ども達に寄り添い、さらには職員一同研鑽に努めてまいります。最後に、今年度も多くの方に助けをもらいながら無事1年を終えることができました。ありがとうございました。引き続き、「らるご久留米」へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

問合せ先「らるご久留米」
(電話) 0942-35-3869
(FAX) 0942-34-9001

1回覧ください

開設日が変わりました!! 子どもの居場所「みらくるホーム」

「みらくるホーム」は、家庭でも学校でもない、子どもたちの第三の居場所です。

「誰かと話したい」、「ひとりの時間が欲しい」、「勉強したい」など、利用の目的は問いません。

非行や高校中退者などの相談対応、農作業などの体験活動、就労に向けた支援なども行っています。

一度のぞいてみませんか？

利用対象者 中学生から19歳まで（在校生の利用は原則、放課後・休日のみ）

※相談については保護者の方も利用できます。

支援スタッフ 経験豊富な「支援活動コーディネーター」が関係機関と連携を取りながら、子どもたちの自立や立ち直りなどに向けた支援を行います。

開設日・時間 月曜・火曜 → 午後1時～6時

日曜 → 午後1時～5時

（水曜～土曜・祝日・年末年始は休み）

Wi-Fi (ワイファイ) 使えます♪

お問い合わせ先

久留米市イメージキャラクター

（電話・FAX）

0942-37-4345

（場所）東町412-23

ディブレス久留米2階



ご存じですか？『子ども食堂』



子ども食堂とは…

子どもや保護者、地域の方等を対象に無料または低額で食事を提供する食堂です。

子どもの貧困対策に限らず、孤食の解消、食育の場、地域とのつながりの場にもなっています。

久留米市内には、地域や民間団体などによる子ども食堂が15か所あり、それぞれの地域の実情に応じて運営されています。

《補助金制度があります》

久留米市では、子ども食堂を実施する市民活動団体等に対して、その運営費や施設整備費を助成しています。

子ども達を未来に向けて育む支援として、子ども食堂の開設を考えてみませんか。

《食材の支援・寄付》

食材提供のご協力など随時受け付けております。少量でも構いません。まずはご連絡ください。



《ボランティア》

あなたの「できること」を生かして、子ども食堂を手伝ってみませんか。（調理・学習支援・子どもとの関わりなど）

子ども食堂に関する問い合わせ

子ども食堂の開設を考えておられる方、食材の寄付、ボランティアをお考えの方など、まずは、子ども政策課へご相談ください。

子ども未来部 子ども政策課（久留米市役所15階）

電話：0942-30-9227 FAX：0942-30-9718

メール：egao@city.kurume.lg.jp

